

平成20年度各会計予算額

単位：万円，% は減（マイナス）

区分	予算額	前年対比増減率
一般会計	12,241,000	1.5
特別会計		
港湾事業	440,300	8.5
国民健康保険事業	3,293,954	8.1
自転車競走事業	1,663,287	16.6
奨学資金	4,261	4.4
水産物地方卸売市場事業	26,010	5.3
老人保健医療事業	306,066	90.5
介護保険事業	1,799,712	1.4
風力発電事業	1,937	6.8
母子寡婦福祉資金貸付事業	11,838	94.6
後期高齢者医療事業	358,747	皆増
小計	7,906,112	28.5
企業会計		
中央卸売市場事業	収入 24,593 支出 30,481	12.3 9.7
水道事業	収入 652,087 支出 792,894	7.1 6.2
温泉事業	収入 32,221 支出 52,716	4.5 0.8
公共下水道事業	収入 1,413,663 支出 1,579,557	36.5 30.5
交通事業	収入 165,589 支出 163,061	0.7 1.2
病院事業	収入 2,028,802 支出 2,187,300	13.0 11.7
小計	収入 4,316,955 支出 4,806,009	17.7 15.4
合計	収入 24,464,067 支出 24,953,121	9.9 9.8

平成22年夏頃に完成する予定である復元された奉行所庁舎については、建物の構造や意匠および五稜郭や箱館戦争関係資料等の展示を中心とした観覧のみではなく、茶会や琴の教室など伝統文化に触れるような各種イベントの開催や講座等の利用など、市民の意見も聞きながら、多様な活用が図られるよう努めてまいりたい。

平成19年度補正予算

一般会計補正予算
さくら・鍛冶総合保育園の施設整備に関わる児童福祉施設整備費補助金など当面急を

条例制定

要する経費の補正や、決算見込みを勘案し、事業費や扶助費、貸付金など予算に比して増減の大きいものを整理したもので、歳入歳出それぞれ4億299万円を減額して、補正後の歳入歳出予算の総額を1243億542万円とするものです。

後期高齢者医療に関する条例

市が行う後期高齢者医療の事務について必要な事項を定めるもので、保険料の徴収に関する事項などを定めています。

条例改正

特別職の職員の給与等に関する条例

議会の議員に支給する費用弁償を日額支給から鉄道賃および車賃の支給にするなどの改正を行いました。

都市景観条例

景観法の施行に伴い、現行の条例を法に基づく条例に移行するため必要な事項を定めました。

その他

監査委員の選任の同意

各委員会は、下記の事件について、閉会中もお継続して審査・調査を行います。（前定例会から引き続き継続審査・調査となった事件は掲載しておりません。）

閉会中継続審査事件

総務常任委員会	「公衆浴場の確保のための特別措置に関する法律」の適切な運用に関する陳情（第2項第1号）	スーパー銭湯とそれ以外の銭湯の区別や、区別した場合に一方のみを支援する根拠などについて検討したうえで審査する必要があるため。
経済建設常任委員会	「公衆浴場の確保のための特別措置に関する法律」の適切な運用に関する陳情（第2項第2号）	状況の調査をしたうえで慎重に審査する必要があるため。
民生常任委員会	「公衆浴場の確保のための特別措置に関する法律」の適切な運用に関する陳情（第1項、第3項）	他都市の減免措置の状況等を検討したうえで審査する必要があるため。
	函館の公衆浴場の安定した経営と温泉資源を枯渇させないための陳情	市の支援状況等を検討したうえで審査する必要があるため。
	地域医療の確保のため函館恵山病院の一般病床の存続等を求める陳情	地域説明会の状況も把握し、慎重に審査する必要があるため。

閉会中継続調査事件

民生常任委員会	市立病院の「公立病院改革プラン」について	平成20年度に市が策定予定の「公立病院改革プラン」に向けた調査をする必要があるため。
---------	----------------------	--------------------------------------------

近江 茂樹氏を監査委員に選任することについては、満場一致で、選任に同意しました。

有料老人ホーム問題
調査特別委員会
本会議初日に最終報告
行政手続、事業者と北海道との協議、情報管理、土地

用に関する権利、今後の行政としての対応について調査を行いました。参考人招致については、公平な調査のために全会一致となる必要があり、招致できませんでした。
議会としては、公正公平で信頼される市政を目指し、理事者とともに取り組んでいくことを確認しました。